

定 例 記 者 会 見 資 料

日時 令和3年12月23日（木）10:00～

場所 白石市防災センター2階 大会議室

1. 新型コロナウイルス中和抗体検査の実施について
2. 多様性を尊重した学校を目指した取組について
3. 福祉灯油等給付金給付事業
4. 稲作農業者次期作経営継続緊急支援事業

【記者会見の動画配信について】

記者会見の様子を記者会見終了後に動画配信させていただきます。  
記者の皆さまもご理解願います。

白 石 市

## [別紙1]

令和3年12月 記者会見資料

### 新型コロナウイルス中和抗体検査の実施について

担当：保健福祉部健康推進課

新型コロナウイルスワクチン接種で体内に中和抗体ができると、ウイルスへの感染、及び感染時の重症化リスクが軽減されます。

中和抗体量には個人差があり、本検査では抗体量が数値化されるため、どの程度体内にあるのかが調べられ、3回目のワクチン接種の目安にもなります。

そこでこのたび、検査会社様のご協力をいただき、中和抗体検査を下記のとおり実施していただく事となりました。

#### ○事業概要

- 1 実施者 抗体検査センター株式会社  
〒985-0071 塩竈市松陽台1丁目3番5号  
代表取締役社長 千葉 美徳
- 2 日時 1月 17日、24日、31日（毎月曜日）  
2月 7日、14日、21日、28日（毎月曜日）  
午前11時～午後4時
- 3 場所 白石市介護予防センター（健康センター西側）
- 4 料金 1回 3,300円（消費税込み）
- 5 連絡先 080（9890）0011

令和3年12月 記者会見資料

## 多様性を尊重した学校を目指した取組について

白石市教育委員会

### ●白石市立白石中学校・白石中学校生徒会の取組

多様な時代である今日、学校においてより質の高い学校教育を保障するためには、違いを受け止め多様性を尊重できる学校を目指していくことが重要であると認識しています。

このような状況を踏まえ、白石中学校では、違いを受け止め多様性を尊重できる生徒を育成するために、生徒会が提案してきたこれまでの男女別々の運動着から男女同一運動着への変更に取り組み、令和4年度入学生から変更することといたしました。併せて女子の標準服でスカートのみであったものを動きやすさやズボンをはく人が多くなった現状を受け、ズボンも採用しどちらでもよいことといたしました。

#### **実践1** 男女同一運動着へ

現在・・・男子ー青 女子ーピンク の運動着から



令和4年度入学生より・・・男女同一運動着へ(別紙)

温暖化対策を意識した運動着へ

##### 1 運動着変更のねらい

- ①ユネスコスクール推進校として世界共通の新しいものさしであるSDGs（持続可能な開発目標）の価値と必要性を実体験として学ばせていく。
- ②主体的に判断・行動し、より良く問題を解決することを実体験させる。
- ③様々な意見がある中で常に相手意識を持たせ、未来の白中生のために考えていくことの素晴らしさを体験させる。

##### 2 今年度の実践(教職員・生徒・保護者代表により検討委員会を開催)

- ①5月18日 生徒会総会で生徒側からの提案に対して検討することを回答
- ②5月下旬 アンケートによる実態調査（小学校6年生・在校生保護者，在校生，教職員対象）
- ③6月中旬 取扱業者説明会実施
- ④7月下旬 運動着取扱業者決定
- ⑤8月下旬 新運動着決定
- ⑥9月中旬 生徒に新運動着を公表
- ⑦9月中旬 白石中，一小，二小，大平小，越河小で新運動着を披露

#### **実践2** 女子標準服にズボンを採用

現在の女子標準服・・・スカートのみから



今後の女子標準服・・・スカートにプラスしてズボンを採用(別紙)

## 福祉灯油等給付金給付事業

担当：保健福祉部福祉課

新型コロナウイルス感染症などの影響により、原油価格が高騰しており、市民生活に大きな影響を与えております。

本市では、このような状況に鑑み、原油価格高騰対策として、家計負担の特に大きいと考えられる生活困窮世帯に対し、厳冬期における暖房費用に係る経済的負担の軽減を図るため、福祉灯油等給付金を給付いたします。

### ○事業概要

- 1 支給対象 世帯全員の令和3年度の住民税均等割が非課税である世帯及び新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し非課税世帯と同様の事情にあると認められる世帯（家計急変世帯）  
※住民税が課税されている者の扶養親族等のみからなる世帯を除く。
- 2 支給金額 1世帯あたり5千円
- 3 支給時期 令和4年2月上旬から順次

[歳出]	3款 民生費	1項 社会福祉費	18目 福祉灯油等給付費
	2事業 福祉灯油等給付金給付事業		
	10節 需用費		6千円
	11節 役務費		954千円
	18節 負担金補助及び交付金		
		福祉灯油等給付金	20,000千円
		合計	20,960千円

## 稲作農業者次期作経営継続緊急支援事業

担当：市民経済部 農林課

新型コロナウイルス感染症の影響により、外食産業での米の需要が激減したため、宮城県の主力品種である「ひとめぼれ一等米」の60kgあたりの概算金が、令和2年産米から3,100円減の9,500円に下落したことに伴い、農家経済に大きな影響を受けています。

本市では、米の作付けを継続し農地を守るため、10aあたり4,000円の次期作の経営支援を行うことを決定しました。

支援金の交付は、みやぎ仙南農業協同組合に対し補助金として交付し、各稲作農業者に交付いただくこととしております。

### ○事業概要

#### 1 対象者

令和3年産主食用米を作付けした稲作農家（加工用米・備蓄用米を含む）

#### 2 受付開始

令和4年1月開始予定

#### 3 補助金額

10aあたり4,000円

[歳出] 6款 農林水産業費 1項 農業費 8目 水田営農活性化対策費  
2事業 水田営農活性化対策事業  
18節 負担金補助及び交付金  
稲作農業者次期作経営継続緊急支援対策補助金

39,238千円